

- 1 会議名 全員協議会
- 2 日時 平成28年4月20日（水）
午前10時～午前11時58分
- 3 場所 第3委員会室
- 4 出席議員 全議員
- 5 出席者 総務部長 山田日出雄、市民部長 柴田義晴、健康福祉部長 森山稔、建設部長 西垣正則、教育こども未来部長 長谷川忍
秘書企画課長 佐野剛、行政課長 中村定秋、同主幹 佐藤信次、危機管理課長 隅田昌輝、同主幹 秋田伸裕、環境保全課長 西井上剛、福祉課統括主査 大島富美、維持管理課統括主査 田中伸行、上下水道課長 松永久夫、同統括主査 小川薫
- 6 事務局出席者 議会事務局長 尾関友康、同統括主査 寺澤顕
- 7 議長あいさつ
- 8 総務部長あいさつ
- 9 報告事項
 - (1) 一部事務組合議会の経過報告
 - ①小牧岩倉衛生組合議会の経過報告
塚本秋雄代表議員から報告
質疑なし
 - ②愛北広域事務組合議会の経過報告
木村冬樹代表議員から報告
黒川議員：愛北クリーンセンター施設整備基金の残高はどれほどか。
環境保全課長：平成28年3月31日時点の基金残高は、3億1,269万2,395円だが、平成27年度分の基金からの支払いが概ね2億円ほど残っている。また繰入金9,362万2千円が執行されると最終的な残高は2千万円程度になると見込まれる。
 - ③尾張水害予防組合組合会
梅村 均代表議員から報告
質疑なし
- (2) 執行機関からの報告
- ①5月臨時会に提出予定の議案について
各部長が資料に基づき各議案を説明した。

質疑なし

②管路耐震化計画図について

上下水道課上下水道課グループ統括主査が資料に基づき説明した。

質疑なし

③「災害時要配慮者支援体制マニュアル」について

健康福祉部長及び福祉課障害福祉グループ統括主査が資料に基づき説明した。

質疑なし

④その他

- ・平成28年2月16日付け岩倉市特別職報酬等審議会答申について
総務部長が資料に基づき説明した。

質疑なし

- ・パンフレット「こんなトコ岩倉市」について
建設部長が資料に基づき説明した。

黒川議員：裏面の問合せ先について、住所、電話番号等の記載はあるが問合せ先所管課の記載がない。所管部署はどこか。

建設部長：パンフレットの中身については全庁的な内容で各課が個別対応することになる。窓口としては協働推進課広報情報グループと考えている。

- ・排水機場ポンプ施設等の修繕について
建設部長が資料に基づき説明した。

伊藤議員：排水機場ポンプが稼働出来ないことについて、東海豪雨時には排水機場が稼働したにも関わらず甚大な水害被害を被った。稼働出来ない状況で集中豪雨がきたらどうなるのか。

維持管理課維持グループ統括主査：東海豪雨の際、河川の上流地域はポンプを稼働させて下流部へどんどん放水した。その結果下流部は甚大な被害を被った経緯がある。岩倉市は新川の流域部に位置するが、流域部関係市町が協議会を立上げ排水に関する決まりを作った。その一つ目に春日地域における水位測定が5.4メートルに達すると排水規制が掛かり流域部においてポンプが稼働できないようになる仕組みである。二つ目に河川法の規定において、それぞれの排水機場に対する管理規則を定めるようになっていて、決められた水位に達したらポンプを稼働しても良いという規定がある。更に三つ目として、外水位（五条川の水位）が内水位よりも高くなった場合にポンプを稼働できるという規定もある。これら3つの条件が該当すると初めてポンプを

稼働できる。条件に合致しないのであれば水を自然流下で流していくほかない。

相原議員：浚渫を計画通り実施してもポンプの使える箇所、使えない箇所の差が表れるが、市議会のふれあいトークの際にその差について指摘があった。希望の家付近の排水機場が使用できないと指摘があったと記憶するが今後もしばらく使用できない状況か。

維持管理課維持グループ統括主査：排水機場の使用を可能にするには、先に述べた3条件を満たす必要がある。愛知県が下流部から順次浚渫を行っていて、新川と五条川の合流する地点は平成27年に浚渫している。上下水道課所管の計画だが平成47年頃までに五条川改修が待合橋まで進む予定である。長期的な計画になるが、順次、市内に貯留施設を造っている。外に吐き出せない分は内に貯めるという手法である。7つの排水機場の維持は東海豪雨の教訓からも防災上において重要と考えている。

大野議員：排水機場の故障とは具体的などのような故障か。

維持管理課維持グループ統括主査：野寄町の排水機場については、ポンプにある逆流防止弁のふたが壊れてしまっている。北島の排水機場については、逆流防止弁を駆動させるための電気設備が錆びてしまって完全に弁が動かない状態にある。

大野議員：他市町の排水機場は更新計画等を立てているのか。

維持管理課維持グループ統括主査：愛知県に確認したが、一宮市の排水機場は耐震性を考慮した施設にすると聞いている。稲沢市は排水機場の更新計画を作成し始めていると聞いている。これらの地域は海拔0メートル地域にも当たり、立地的条件から排水機場ポンプの稼働に関しては、想定する被害の面においても排水機場の今後について特に重要視していると考えられる。

宮川議長：野寄町や北島町は口径1200ミリのポンプで排水能力もかなり高いと聞いている。また排水規制もあるようだが、東海豪雨の被害者の不安と1年から1年半くらいはポンプそのものが無いという状況であるので、何かしら口径1200ミリのポンプに代わりえるような手法を模索する考えは現実離れしているか。

維持管理課維持グループ統括主査：このポンプに代わる手法は厳しいものと思われる。当初壊れている物はすぐに修繕すべきと考え市単独で2500万円計上することも考えたが、愛知県と話を進めるなか、今年度更新に向け動くのであれば来年の県費補助は可能との見解も

いただいている。財政面からも、又は最近2年間はポンプを稼働していないという実績面からも現時点で改修に向けて2500万円を投じるのはいかがなものかという見解に至っている。

黒川議員：2年間ポンプを使えないという状況は近隣住民に不安を与えることとなる。意見としては仮設など様々な手法をシュミレーションすることが重要と考える。1200ミリのポンプを代用することは難しいかもしれないが、幅広い調査を行っていくことが重要である。

宮川議長：近隣住民の不安を考慮した施策を進めるようお願いする。

(3) その他

- ・岩倉市議会ふれあいトークでの意見に対する報告について

議会基本条例推進協議会木村冬樹会長から報告

教育こども未来部長（前秘書企画課長として説明）：石仏駅西側の階段手すりについて、名鉄側から回答を得て、4月の区長会において説明をした。3月中であったと記憶するが名鉄から断りの連絡があった。市で手すり設置を実施するとしても許可は下りないということである。駅東にも改札口の設置を要望しているが、名鉄としては跨線橋や駅を含めたトータル的なバリアフリー対策が必要で、簡易的なバリアフリーを今実施すると手戻りになるという見解である。

宮川議長：回答はどちらから得たものか。

教育こども未来部長：本社ではなく、神宮前にある部署からの回答である。

宮川議長：鉄道事業本部と思われる。

10 協議事項

(1) 議会人事について

宮川議長から議長の選出方法、議長の常任委員会への参加、議長の複数年制、農業委員会の任期及び役職への立候補制について以上5点の説明

木村議員：これまで申合せで行ってきたことは今後見直す必要もあると考える。市議会議員としての在職期間はそれぞれに違いがあり、各委員会の正副委員長は中堅以上の議員が担ってきた。負担を分担することも今後は必要かと考える。

堀議員：農業委員会関係の慣例集について、慣例も法なりではあるが、足跡として残すべきものと会議規則等に規定すべきものと整理することが必要と考える。

宮川議長：これらの判断について、議論の場は議会運営委員会で行うということによいか。（意義なし）

(2) その他

なし

1 1 その他

- ・ 職員の配置要望について宮川議長から説明

堀議員：今日のような場で職員配置要望について議論することは良いことと思うが、去年はそうでなかった。議長名であてた文書に関して、然るべき処で諮って回答すべきである。

- ・ 相原議員から5月臨時議会において意見書を提出したい旨の報告。
- ・ 大野議員から議員ロビーのテレビの新調についてどうかという意見。